

分科会では、NIE実践指定校・県立洲本高の大石昇平教諭が、「地域住民とつながり生徒の世界を広げるNIE」を演題に取り組みを発表した。

同校新聞部と読売新聞販売店「YC洲本」が協力し、7月に創刊したミニコミ紙「NEWすもと」を紹介。地域の老人会と生徒有志が、コメ問題や少子化などがテーマの新

ミニコミ紙 地域交流

分科会 洲本高取り組み



YC洲本と洲本高新聞部で作ったミニコミ紙「NEWすもと」について分科会で報告する大石教諭

聞記事について語り合う交流会を、地元で開いたことも報

告した。大石教諭は「高校生にとって新聞は『オールドメディア』ですらない。社会を知り、考える手段としての新聞に接触するきっかけを作っていきたい」と述べた。

島内ではほかに、南あわじ市立沼島中学校の森彩夏教諭が「小中一貫として取り組む地域を発信するNIE教育」をテーマに実践発表をした。